ECOHiLUX
エコハイルクス

LEDシーリングライト

CEA6DL-5.0QCF／CEA6DL-5.0QWFM
CEA8DL-5.0QCF／CEA8DL-5.0QWFM
CEA12DL-5.0QCF／CEA12DL-5.0QWFM

共通取扱説明書

保管用

●使用環境：一般屋内

この商品は、海外では
ご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ●**使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。**
- ●この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ●この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- ●「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ販売店からお受け取りください。

安全上の注意

安全に使用いただくために下記の事項を必ずお守りください。

図記号の意味　⚠ 注意を示す記号です。　⊘ 禁止を示す記号です。　❗ 必ず行うことを示す記号です。

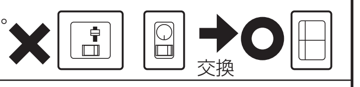
⚠警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

禁止

改造や、部品交換をしない
落下・感電・火災などの原因になります。

調光器を使用しない　「入・切」専用
破損や発煙の原因になります。



可燃物で覆わない
可燃物を被せたり、近づけたりしない
火災の原因になります。

取り付けできない天井・配線器具に取り付けない
「取り付けできない天井･配線器具」に記載された場所や配線器具には取り付けないでください。落下・感電・火災などの原因になります。

必ず実施

取り付けは確実に行う
落下・破損・けがの原因になりますので、本書にしたがい確実に取り付けてください。

異常を感じたら速やかに電源を切る
すぐに電源を切り、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

交流100Vで使用する
火災・感電のおそれがありますので、定格電圧以外では使用しないでください。

清掃・取り付け・取り外しの際は必ず電源を切る
感電の原因になります。

⚠注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害の発生が想定される内容を示しています。

禁止

LED光源を直視しない
目を傷める原因になることがあります。

点灯中・消灯直後は、照明器具に触れない
やけどの原因になることがあります。

破損した場合は使用しない
落下してけがの原因になります。
破損した場合は修理を依頼してください。

温度の高い場所で使用しない
火災の原因になります。

屋外や湿気の多い場所で使用しない
故障や感電の原因になります。

水洗いしない
火災・感電の原因になります。
「お手入れについて」を参照し、水につけたり、水をかけたりしないで清掃してください。

薬品を使用しない
変形・火災の原因になります。
殺虫剤、かび取り剤などをかけないでください。

必ず実施

1年に1回は自主点検を実施する
長期間の使用による発煙・発火・感電などの事故を防ぐため、保証書の「安全チェックシート」を参照し、定期点検を実施してください。
設置後8～10年経つと、自然に内部劣化が進みます。
※参考使用条件：周囲温度30℃、1日10時間点灯、
年間3,000時間点灯した場合。
（JIS C8105-1解説による）

ご使用についてのお知らせ

- ●1個の壁スイッチで2台以上の照明器具を操作しないでください。同時に切り替わらない場合があります。
- ●付属のリモコンはアイリスオーヤマ製照明器具専用です。他のリモコンを使用する機器（テレビなど）には使用できません。
- ●本照明器具の近くで他の赤外線リモコン方式の機器やワイヤレス機器を使用すると、正常に動作しない場合があります。
- ●点灯直後や明るさを切り替えた直後などに、リモコン信号を受信しにくくなる場合があります。その際は少し時間を置いて、再度リモコンを操作してください。
- ●3Dテレビを視聴しているときは、本照明器具のリモコンが反応しにくくなる場合があります。
- ●天井や壁、床の材質によっては、リモコンが反応しにくくなる場合があります。
- ●ラジオ、ワイヤレス方式の機器はなるべく照明器具から離して使用してください。雑音が入る場合があります。
- ●本照明器具はリモコンで消灯しても、約0.5Wの電力を消費しています。長期間使用しない場合は、壁スイッチを切ってください。
- ●LED光源にはばらつきがあるため、同じ型式･形状の商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- ●照射距離が近い場合、照射面で光むらがでることがあります。
- ●調色によっては全光束、消費電力、固有エネルギー消費効率が変わる場合があります。
- ●本照明器具は、LED光源が内部に組み込まれているため、LED光源の交換はできません。
- ●停電復帰時や、予期せぬごく短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
- ●充電池をリモコンに使用しないでください。操作できないことがあります。
- ●エアコン吹き出し口近くへの設置など、温度が高くなる機器の近くに設置しないでください。また、真下にストーブやコンロなどの発熱機器、温度が高くなる機器を設置しないでください。故障の原因になります。
- ●防犯カメラやビデオカメラを介して照射面を見た際、カメラのモニターや録画画像に縞模様やちらつきが見える場合があります。

仕様

品　番	消費電力	器具光束	定格電源電圧	定格電源周波数	待機電力	サイズ	質量
CEA6DL-5.0QCF	28.0W	3300lm（最大点灯時）	AC100V	50Hz/60Hz	0.5W	φ441×H85 mm	約1.1kg
CEA6DL-5.0QWFM						φ446×H85 mm	約1.2kg
CEA8DL-5.0QCF	34.0W	4000lm（最大点灯時）				φ441×H85 mm	約1.1kg
CEA8DL-5.0QWFM						φ446×H85 mm	約1.2kg
CEA12DL-5.0QCF	41.0W	5200lm（最大点灯時）				φ560×H93 mm	約1.8kg
CEA12DL-5.0QWFM						φ565×H93 mm	約1.9kg

※LED モジュール寿命は 40,000 時間です。LED が点灯しなくなるか、光束が 70% に低下するまでのいずれか短い時間を推定したもので、製品の寿命を保証するものではありません。
※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

アイリスオーヤマ株式会社
〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ https://www.irisohyama.co.jp/

製品に関するお問い合わせ（通話料無料）
アイリスコール 0120-311-564
9:00～17:00（年末年始･会社都合による休日を除く）

修理に関するお問い合わせ（通話料無料）
修理専用コール 0800-170-7070
9:00～17:00（年末年始･会社都合による休日を除く）

お客様サポート
24時間365日
Web即時回答サービス

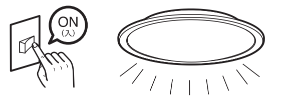
●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書･ご購入履歴のわかるもの･メモのご用意をお願いします。

明かりをつける

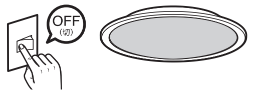
壁スイッチで操作する

■壁スイッチで明かりをつける

壁スイッチ ON：点灯(ラストメモリー)
壁スイッチを切る前の明かりを再現します。

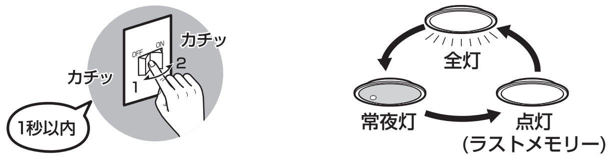


壁スイッチ OFF：消灯
消灯します。



■壁スイッチで点灯状態を切り替える

壁スイッチをONにした状態で、短く（1秒以内）スイッチを操作することで、点灯状態を切り替えることができます。
※スイッチの操作が早すぎると、点灯状態が切り替わらない場合があります。

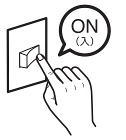


ご注意

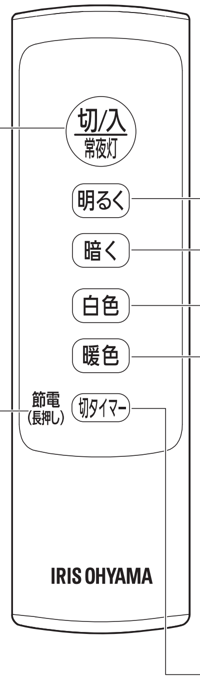
壁スイッチをONにしても点灯しない場合は、壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで点灯してください。

リモコンで操作する

①壁スイッチを「ON」にする

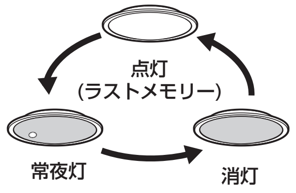


②リモコンを本体に向けてボタンを操作する



■明かりをつける

切／入・常夜灯ボタン
ボタンを押すたびに点灯(ラストメモリー)→ 常夜灯 → 消灯と点灯状態を切り替えることができます。



ラストメモリー点灯：
前回点灯時の状態で点灯させる。
※常夜灯の明るさも前回点灯時の状態で点灯します。

※出荷時に記憶されている明かり（点灯状態）は全灯です。

■節電モードを設定する

「切タイマー」※長押し
節電モードの設定と解除を行います。
※下記、「節電モードを使う」を参照。

■明るさを変える

シーリングライトの明るさを調節します。
※調光10段階

調光ボタン［明るく］
明かりを1段階明るくします。
ボタンの長押しで、明るさを連続調節できます。
常夜灯の明るさも2段階で調節できます。

調光ボタン［暗く］
明かりを1段階暗くします。
ボタンの長押しで、明るさを連続調節できます。
常夜灯の明るさも2段階で調節できます。

■色を変える

シーリングライトの色を調節します。
※調色11段階

調色ボタン［白色］
光の色を1段階白色に近づけます。
ボタンの長押しで、光の色を連続調節できます。

調色ボタン［暖色］
光の色を1段階暖色に近づけます。
ボタンの長押しで、光の色を連続調節できます。
※光の色合いによって、最大の明るさは異なります。
全灯時を 100% とすると、電球色、昼光色へ最も調色したときは最大値が約 60% の明るさとなりますが故障ではありません。

■タイマーで消灯させる

切タイマー
切タイマーの設定と解除を行います。
※下記「切タイマーを使う」参照。

切タイマーを使う

リモコンで操作します。設定後、徐々に暗くなり、30分で消灯します。

切タイマー設定：切タイマーボタンを押す

切タイマーを押す

節電
(長押し)
切タイマー

切タイマーが30分に設定され、照明が1回点滅し、スタートします。

切タイマー解除：切タイマーボタンを押す

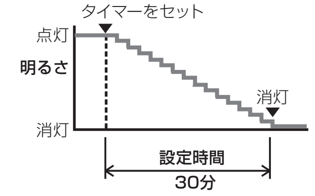
もう一度切タイマーを押す

節電
(長押し)
切タイマー

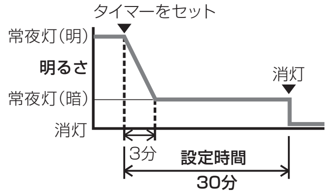
切タイマーが解除され、照明が2回点滅します。

※切タイマー以外のボタンを押しても解除されます。
・切/入･常夜灯ボタン：解除後、そのまま点灯状態が切り替わります。
・そのほかのボタン：解除後1回点滅し、点灯状態は変わりません。

〈点灯状態からの切タイマー動作イメージ〉



〈常夜灯での切タイマー動作イメージ〉



※暗めの常夜灯で設定した場合、明るさは暗めのまま変わりません。

ご注意

- ●壁スイッチをOFFにしたり、停電したりすると、切タイマーは解除されます。
- ●切タイマーで消灯した場合、再点灯させるには、リモコンで点灯させるか、壁スイッチを短く（1秒以内）操作して点灯状態を切り替えて点灯させてください。
- ●節電モードとの併用はできません。

節電モードを使う

リモコンで操作します。設定後、一定の明るさまで30分かけて徐々に暗くなります。（約40%暗くなります。）

節電モード設定：切タイマーボタンを（3秒以上）長押しする

切タイマーを長押しする

節電
(長押し)
切タイマー

節電モードが設定され、照明が1回点滅し、スタートします。

※一度設定すると、解除するまで節電モードが設定された状態になります。
再点灯したとき、また徐々に暗くなります。

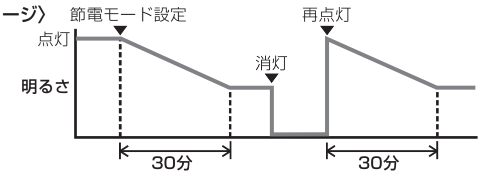
節電モード解除：切タイマーボタンを（3秒以上）長押しする

もう一度切タイマーを長押しする

節電
(長押し)
切タイマー

節電モードが解除され、照明が2回点滅します。

〈節電モードの動作イメージ〉



ご注意

- ●一定の段階以下の明るさや、常夜灯の点灯状態では節電モードは動作しません。
- ●節電モード設定中に明るさを変えたときは、一時的に節電モードは動作せず、その明るさを維持します。
- ●壁スイッチで点灯状態を「全灯」に切り替えたときは、一時的に節電モードは動作せず、全灯を維持します。
- ●切タイマーとの併用はできません。
- ●明るさが落ちるため、暗いと感じる場合があります。その場合は明るさを変えるか、節電モードを解除してください。

故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状　態	考えられる原因	処　置
リモコンで照明器具が操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
	照明器具とリモコンのチャンネルが合っていない。	「チャンネル切り替えについて」を参照し、チャンネルを合わせてください。
照明器具が点灯しない	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
調色すると暗く感じる	光の色合いによって、最大の明るさは異なります。 全灯時を 100% とすると、電球色、昼光色へ最も調色した時は最大値が約 60% の明るさとなりますが故障ではありません。	
壁スイッチをONにしても点灯しない	照明器具が「消灯」状態になっている。	「明かりをつける」を参照し、壁スイッチを短く（1 秒以内）操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチを ON にしてリモコンで切り替えてください。
操作していないのに明かりがついたり、変わったりする	短い停電などにより、「壁スイッチで点灯状態を切り替える」機能が働き、点灯状態が切り替わることがあります。	ご使用にならない時は、壁スイッチをOFFにしてください。 「明かりをつける」を参照し、壁スイッチを短く（1 秒以内）操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチを ON にしてリモコンで切り替えてください。
明かりが繰り返し変化する	工場出荷時の試験点灯モードになっている。	リモコンの切/入/常夜灯ボタンと切タイマーボタンを同時に5秒以上押して、試験点灯モードを解除してください。

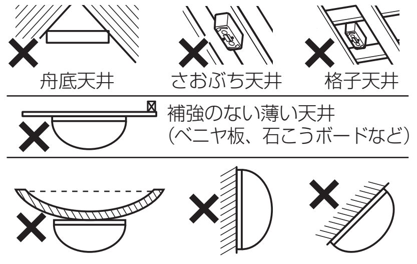
それでも解決できないときは、お買い上げの販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。

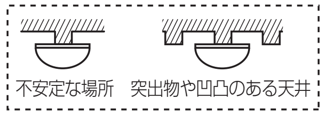
⚠警告 ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

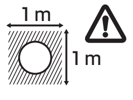
取り付けできない天井・配線器具

次のような場所には取り付けない

本照明器具は天井取り付け専用です。指定以外の場所に取り付けると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。



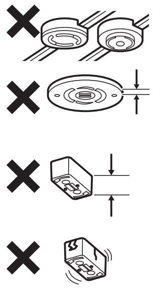




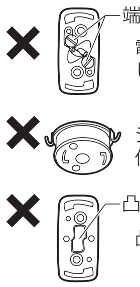
⚠ 照明器具の取り付けには配線器具を中心に約1m×1mの平面部が必要です。

次のような配線器具には取り付けない

火災や感電・落下によるけがの原因となります。配線器具の交換は、販売店・工事店に依頼してください。（配線器具の交換は資格が必要です）



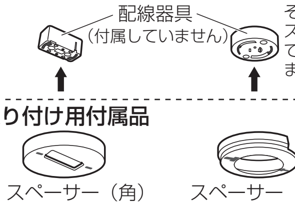
- ケースウェイに取り付けてある
- 埋込ローゼットの出しろが10mm未満あるいは14mm以上
- 角型・丸型引掛シーリングの出しろが20mm未満あるいは24mm以上
- 破損している　ぐらつく



- 電源端子が露出している
- シーリングハンガーが付いている
- 凸部がある

各部の名称

●組み立てる前に下記の部品がすべてそろっていることをお確かめください。
●表記以外の部材は梱包材です。

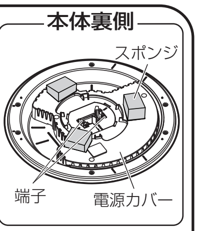


取り付け用付属品

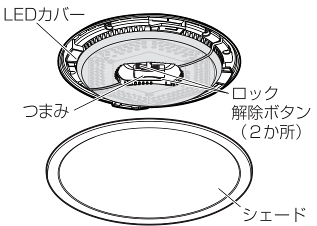
それぞれの配線器具に合ったスペーサーを取り付けることで、本体が取り付けやすくなります。

※ 一部の配線器具には取り付けられない（ゆるい、きつい）場合があります。その場合には、スペーサーは使用しないでください。

本体裏側

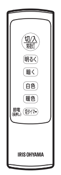


本体（分解しないでください）

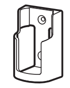


リモコン付属部品

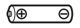
●リモコン：1台



●リモコンホルダー：1個



●単4形アルカリ乾電池：1本

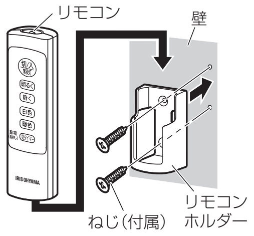


●ねじ：2本

リモコン収納のしかた

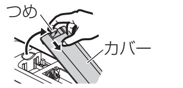
リモコンホルダーを壁に取り付け、壁掛け収納ができます。

※収納した状態では操作しないでください。

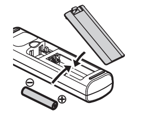


乾電池の入れかた

1 つめを押しながら、裏面のカバーを持ち上げる



2 表示に合わせて⊕⊖を間違えないように乾電池を入れ、つめの向きを合わせてカバーを閉める



- ●電池の寿命は新品のアルカリ乾電池を使用した場合、約1年です。付属の電池は動作確認用なので、上記より早く消耗する場合があります。
- ●電池を交換するときは、新品の単4形アルカリ乾電池に交換してください。
- ●長時間使用しない場合は電池を取り出して保管してください。

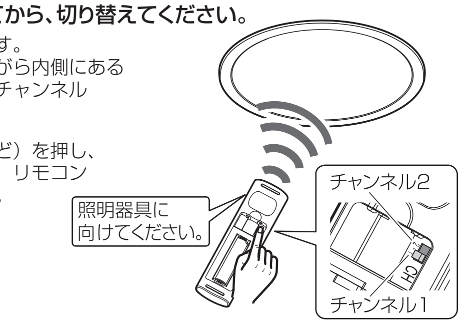
チャンネル切り替えについて

※出荷時はCH1に設定されています。

リモコンに電池が入っていること、壁スイッチがあれば、ON（入）になっていることを確認してから、切り替えてください。

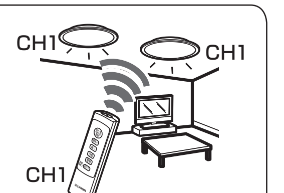
リモコンの裏カバーを外します。
リモコンを照明器具に向けながら内側にあるスライドスイッチを動かしてチャンネルを切り替えてください。

リモコンのボタン（切／入など）を押し、操作出来ることを確認したら、リモコンの裏カバーを戻してください。



●複数の照明器具を1つのリモコンで操作する場合

隣接する照明器具を同じチャンネルに設定します。
※照明器具間の距離やリモコン操作時の方向によっては同時に点灯しない場合があります。

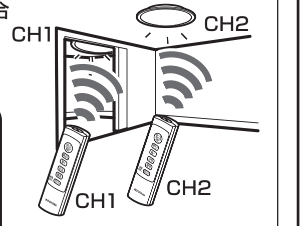


●近くの照明器具を別々のリモコンで操作する場合

隣接する照明器具のチャンネルを別々に設定することでそれぞれ対応するリモコンでのみ操作できます。

ご注意

別の照明器具がリモコンの信号を受けると、チャンネルの設定が変わってしまいます。設定を変更したい照明器具だけが信号を受けるようにリモコンを向けて設定してください。
※個別の壁スイッチがあれば片方をOFF（切）にしたり、間に扉があれば扉を閉めたりすると効果的です。



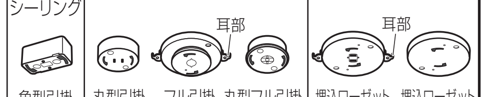
取り付け

⚠警告 取り付けは、必ず電源を遮断してから行ってください。

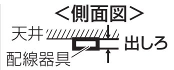
1 天井についている配線器具（引掛シーリング・ローゼット）の寸法と形状を確認する

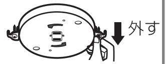
⚠注意 高所での作業になります。
必ず足元の安全を確保してから行ってください。

※下図以外の配線器具、または配線器具が無い配線だけのものは取り付けができません。電気店、または工事店に工事を依頼してください。
※資格のない方の工事は法律で禁止されています。

天井からの出しろ	20mm以上24mm未満				10mm以上14mm未満	
形状	角型引掛シーリング	丸型引掛シーリング・ローゼット			埋込引掛ローゼット	
						
	角型引掛シーリング	丸型引掛シーリング	フル引掛ローゼット	丸型フル引掛シーリング	埋込ローゼット（耳つき）	埋込ローゼット（耳なし）

<側面図>



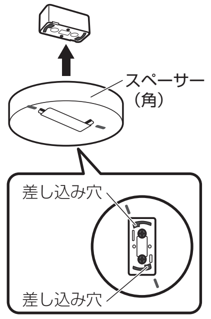


※ローゼットの耳部にねじが付いている場合は、ねじを外してから照明器具を取り付けてください。

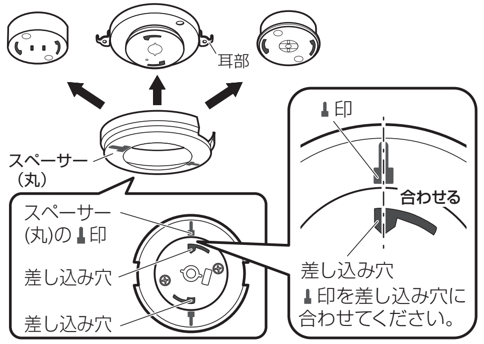
2 配線器具にスペーサーを取り付ける

それぞれの配線器具に合ったスペーサーを取り付けることで、本体が取り付けやすくなります。（埋込引掛ローゼットの場合は、スペーサーは使用しません。）
※一部の配線器具には取り付けられない（ゆるい、きつい）場合があります。その場合には、スペーサーは使用しないでください。

角型引掛シーリングの場合



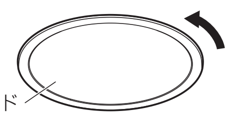
丸型引掛シーリング・ローゼットの場合



▮印を差し込み穴に合わせてください。

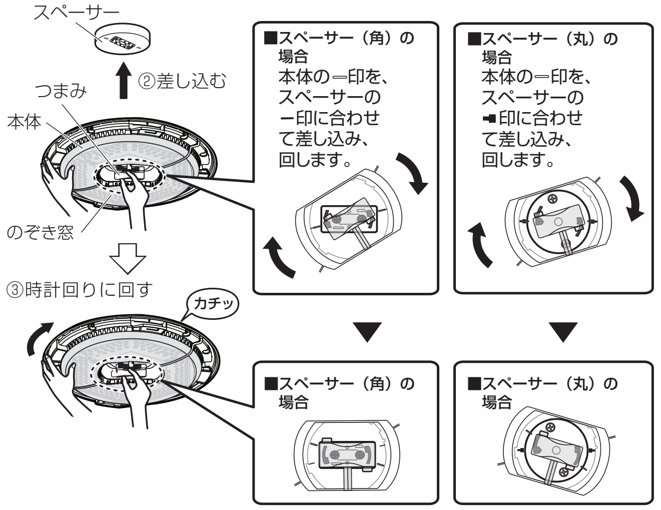
3 シェードを取り外す

シェードを反時計回りに回して本体から取り外してください。



4 本体を取り付ける

①本体中央のつまみを持ち、のぞき窓から配線器具の（端子）差し込み穴の位置を確認し、スペーサーの印に本体の印を合わせます。
※ スペーサーを使用していない場合は、本体の印を目安に端子を差し込み穴に合わせてください。
②そのまま持ち上げて端子を差し込んでください。
③つまみを時計回りに回します。
つまみを天井側に押しつけながら「カチッ」と音がするまで回してください。
※ロック解除ボタン（「取り外し」参照）は押さずに回してください。押しながら回すと「カチッ」と音がしません。



■スペーサー（角）の場合
本体の═印を、スペーサーの━印に合わせて差し込み、回します。

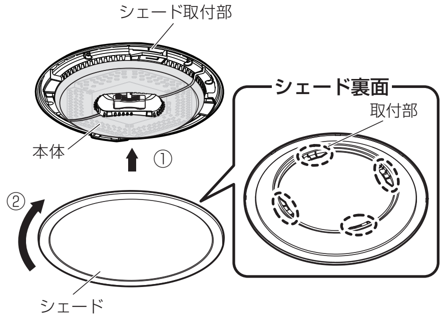
■スペーサー（丸）の場合
本体の═印を、スペーサーの➡印に合わせて差し込み、回します。

■スペーサー（角）の場合

■スペーサー（丸）の場合

5 シェードを取り付ける

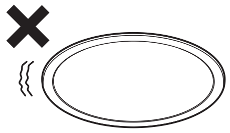
①シェードの取付部が本体のシェード取付部の間に入るように合わせ、シェードを押しつけながら時計回りに軽く回してください。
シェードの取付部が本体のシェード取付部に入ります。
②シェードの回転が止まるまで時計回りに回し、確実に取り付けてください。



⚠注意 本体を必要以上に回転させないでください。
引掛シーリングやローゼットが破損します。

⚠警告 シェードは確実に本体に取り付けてください。
落下によるけがのおそれがあります。

照明器具がぐらついたり、傾いたりしている場合は正しく取り付けられていないため、もう一度取り付けなおしてください。



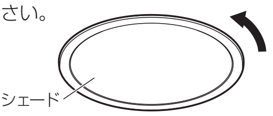
※取り付け後、使用したときに異常が見られた場合は、壁スイッチを切り、もう一度照明器具を外して、取り付けなおしてください。

取り外し

⚠警告
- ●取り外しは必ず電源を遮断してから行ってください。
- ●消灯直後は照明器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから取り外してください。

1 シェードを取り外す

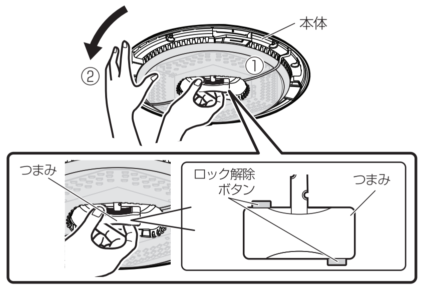
シェードを反時計回りに回して本体から取り外してください。



2 本体を取り外す

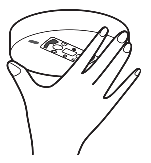
①つまみの2か所のロック解除ボタンを2つとも押してください。
②反時計回りに回して本体を外してください。

⚠注意 本体を片方の手で支えながら外してください。
本体の落下によるけがや破損の原因となります。



3 スペーサーを取り外す

⚠注意 本体を外したはずみでスペーサーが落下することがあります。

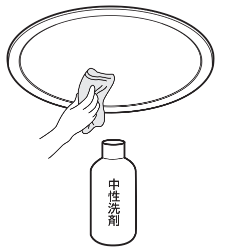


お手入れについて

照明器具が汚れていると暗くなります。明るく安全に使用していただくため、定期的に清掃することをおすすめします。

⚠注意
- ●必ず壁スイッチをOFF（切）にするか、電源を遮断してください。感電の原因となります。
- ●消灯直後は照明器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから清掃をしてください。

1 水で薄めた中性洗剤に、柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取る

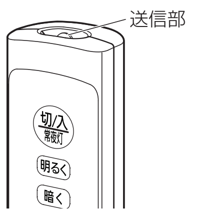


2 汚れが落ちたことを確認後、洗剤分を拭き取る

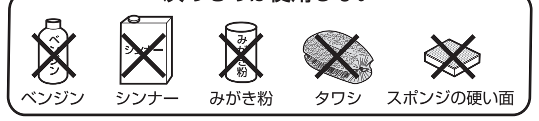
水に浸して固く絞った布で完全に拭き取ってください。

3 仕上げに乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取る

●リモコンの送信部は、乾いた柔らかい布で定期的に汚れを拭き取ってください。
汚れるとリモコンでの操作がしにくくなります。



次のものは使用しない


ベンジン
シンナー
みがき粉
タワシ
スポンジの硬い面

⚠注意 絶対に、水をかけたり、水につけて洗ったりしないでください。
火災・感電・故障の原因になります。